発行：射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会
事務局：〒667-1368　兵庫県美方郡香美町村岡区入江 711-2
TEL 0796-95-0800（射添地区公民館内）

射添地区
新しい地域コミュニティだより

創刊号
2019.6.27

射添小学校グラウンドの桜並木

「地域の課題を整理し、できることからスタート」

射添地区新しい地域コミュニティ
設立準備委員会　会長　古川功兒
（射添を考える会　会長）

全国的に少子・高齢化の進展などにより、地域住民のつながりが希薄化し「村」としての機能が弱くなってきています。その様な中で、国の施策として現在の行政区の枠組みを超えた、つながりの強い地域を単位とした新しい地域コミュニティを形成し、地域づくりを行おうとしています。全国の市町村では約39％にあたる4，177団体が組織しているようです。香美町においては、小学校区を単位に香住区で1、村岡区で1の計2地域をモデルとして先行実施し、その後、全町に広げていくと聞いています。そのひとつとして、射添地区に白羽の矢が立てられたということになります。

香美町における高齢化率はおよそ38％、村岡区においては43％、その中でも射添地区は46％と高くなっています。射添には、平成4年に地域に活力を与え、地域の発展を期して「射添を考える会」が発足し、今日までその活動を継続してきています。この「射添を考える会」を基盤に「新しい地域コミュニティづくり」に取り組むことになりました。役場企画課の担当者に7回お越しいただき、取り組みの趣旨、内容を指導・支援していただき、平成31年1月17日に新しいコミュニティを立ち上げるための設立準備委員会を発足いたしました。この1年を準備期間として、令和2年4月1日には正式に立ち上げたいと考えているところです。

新しい地域コミュニティには、様々な課題解決への取り組みや地域づくりを行うため、「地域振興」「地域福祉」「地域防災」「ひとづくり」などの組織を設定する必要があります。そして地域の課題に対応する中心的事業を進めなければなりません。そのために、「射添を考える会」委員や愛育班・婦人会・いずみ会・子ども会・PTA等々の代表者による設立準備委員からの意見と「まちづくりアンケート」を集約し、地域課題を整理したいと考えています。多くの重要な課題が上がってくると思いますが、「できることから取り組みを進める」ことに重点を置いて活動を推進していきたいと考えています。

新しい取り組みをスタートするには、いろいろなハードルがあります。ハードルを越えて行くために皆様の英知を結集していただきたいと思います。射添地区の皆様の格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

■■■

鳥大 筒井教授との意見交換会

5月24日（金）射添地区公民館

鳥取大学地域学部地域創造コースの筒井一伸教授を講師に迎え、設立準備委員他29名が参加。日南町大宮地区を参考例とし「ヒト×コトから考えるコミュニティづくり」を題目に、担い手を活かすコミュニティづくりから地域運営組織づくりのポイント、外家族との交流等について意見が交換されました。

第4回射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会

5月29日（水）射添地区公民館

①射添地区まちづくりアンケートについて②射添地区各区の事業活動と現状について③求められる射添地区地域コミュニティづくりの将来像について④広報部会について⑤地域コミュニティづくりの先進地視察について。

以上の内容について話し合いました。

ほ　っ　と　ニ　ュ　ー　ス

射添っ子 自然の恵みを実感

5月10日(金)　中村さんの田んぼ（村岡区和田）

射添小では「ふるさと教育」の一環で毎年田植え体験をしています。今年は 4 年生 10 名が田んぼに入り、農業の苦労や自然の恵みのありがたさを実感しようと、昔ながらの木枠を使い、一生懸命植えました。みんな上手に植えていました。秋には育った稲の手刈り体験をする予定です。（指導者：中村重信・石井康）

幼稚園児がサツマイモの苗植え体験

5 月15日(水）味取子育て支援センター広場

村岡区、小代区の園児 33 名が、サツマイモの苗植え体験をしました。土や農産物に触れ田舎の良さを分かってもらい、一人でも多く地域に残ってもらおうと、指導者（村岡アグリファーム㈱仲村社長他ボランティア 7 名）に教わりながら、ミニシャベルで穴を掘り、立派な芋苗を植え込みました。収穫は 10 月の予定です。

矢田川・湯舟川のせせらぎになびく鯉のぼり

6月2日(日）川会区

昭和６２年川会村おこし事業から取り組み、区内、区外の多くの皆さんから提供いただき、毎年旧節句に鯉のぼりを掲げています。子どもが少ない時代ですが、明るく元気に飛び跳ねる子どもであるように願っています。川会区の鯉のぼり、今では地域の風物詩となっています。（何匹の鯉のぼりが泳いでいるでしょうか？数えてみて下さい）

「ヨーイヤサー」和田区の菖蒲綱作り

6月9日(日）和田区

「ヨーイヤサー」威勢のいい掛け声とともに、菖蒲、よもぎ、すすき、藁などで直径 25 ㎝、長さ 20m あまりの綱をない、綱引きをして村の安泰を願うと同時に親睦を深めました。町の指定文化財になっている和田区の菖蒲綱作りです。

昔、村人を苦しめていた竜が１人のお坊さんに退治され、その竜の供養が由来とされています。

編集後記

この4月より射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会の事務局としてお世話になっております。新しい地域コミュニティづくりはマニュアルもなく、どのように取り組むのか設立準備委員同様暗中模索状態です。射添地域にあった地域コミュニティとはどのようなモノなのか……etc．お世話になりますがよろしくお願いします。お気軽にお立ち寄りいただき、地域の情報提供をよろしくお願いします。

集落支援員　諏訪信彦

お願い　射添地区まちづくりアンケートにご協力下さい

～皆様の声をお聞かせ下さい～

射添地区で暮らす皆様（中学生以上）から日頃思っていることやご意見をお聞きし、これからもみんなで地域を元気にしていく取り組みを検討するため、各世帯にアンケートを配布しております。皆様の思いをお聞かせいただき今後の取り組みに生かして参りますのでご協力をお願いします。

6月30日までに各区長様宅にお届け下さい!!

創刊特集

射添地区の新しい地域コミュニティづくりを目指して

香美町には、120の行政区があります。2015年の国勢調査では、65歳以上の高齢者人口の割合が40％を超えている行政区が58あります。さらに、55歳以上の人口割合が40％を超えている行政区は117あり、全体の97・5％を占めます。また、世帯数が20以下の行政区も35あり、行政区の高齢化、小規模化が進行しています。（射添地区550世帯・人口1,380名）

このまま、行政区の高齢化、小規模化が進行すると、助け合いの機能が低下し、安全、安心な暮らしや伝統行事、共同作業などの存続が困難になることが予測されます。

新しい地域コミュニティによるこれからの地域づくりには、従来のコミュニティ組織や地域団体と行政との「縦のつながり」から新しい地域コミュニティを構成する団体が「横のつながり」の関係を築きます。そして地域課題の解決と地域住民の自主的、主体的なまちづくりの実現を目指すことが求められます。

地域コミュニティづくりは、地域住民自らが地域課題を自らの責任において解決するという考え方のもと、現在の地域における各種団体の活動を維持しつつ、それらの各種団体が団結、連携して、より良い地域コミュニティの構築を目指すものです。

新しい地域コミュニティは、さまざまな地域課題の解決に総合的に取り組む役割を持つ必要があるため、それぞれの地域でその地域の特性を活かした仕組みを作り上げる必要があります。

また、住民が各々の個性と能力を発揮して、地域活動に参加、参画して、お互いに協力しながら活動し「自分たちの地域は自分たちで守り、育てる」ことを念頭に、それぞれの地域にあった地域づくりを進めることが必要となります。

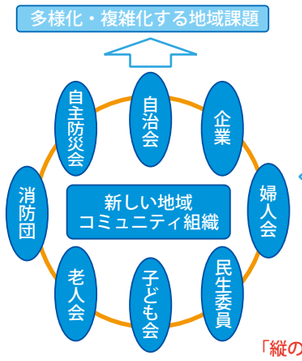
このことを実現するため『射添地区新しい地域コミュニティづくり』を目指し、『射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会』を設立し「地区が目指す姿」や「地区の将来像」について検討して参ります。

射添地区の世帯数と人口

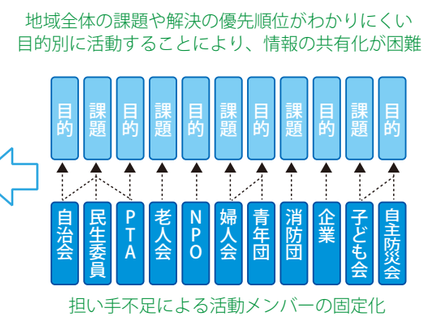
地区名	世帯数	人口
入江	54	113
和佐父	13	35
和田	37	87
長板	45	144
熊波	35	77
相岡	66	144
丸味	9	32
川会	48	132
高津	56	134
長須	21	63
味取	60	160
原	16	45
長瀬	27	89
山田	48	97
小城	8	12
境	7	16
合計	550	1380

2019/4/1 現在

新しいコミュニティ組織



従来型のコミュニティ組織



「縦のつながり」から『横のつながり』へ

射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員

役　職	氏　名	所　属	役　員	氏　名	所　属
会　長	古川功兒	射添地区区長協議会会長	委　員	上田勝也	射添地区青壮年部代表
副会長	中村重信	射添地区区長協議会副会長	々	澤村博行	スポーツ２１いそう代表
々	森　龍子	射添地区公民館長	々	古川綾子	射添地区愛育班
委　員	東垣泰彦	射添地区区長協議会役員	々	田中壽賀子	射添地区愛育班
々	田中眞徳	射添地区区長協議会役員	々	岡本里美	射添地区婦人会代表
々	中村孝一	射添地区区長協議会役員	々	田中満子	射添地区婦人会代表
々	田中則義	射添地区区長協議会監事	々	田淵悠代	射添地区いずみ会代表
々	山本太一	射添地区区長協議会監事	々	才田崇仁	射添小学校ＰＴＡ会長
々	西坂秀美	香美町議会議員	々	奥谷直樹	射添小学校子ども会会長
々	岸本正人	香美町議会議員	々	北村慎二	射添幼稚園保護者会会長
々	田中洋介	射添地区老人クラブ代表	々	谷渕秋晴	村岡中学校ＰＴＡ（射添地区）
々	浅田重男	射添地区老人クラブ代表	事務局	諏訪信彦	企画課集落支援員
々	今後武司	香美町商工会射添地区代表	町担当	山下剛志	企画課企画調整係主査

設立準備委員会発足の経緯

H29年
2月28日　射添を考える会が和田出身、地方創生担当阿瀬太氏を招き「地域活性化セミナー」を開催

H30年
4月10日　射添を考える会が朝来市粟鹿地域自治協議会・糸井地域自治協議会を視察研修
6月5日　射添地区区長協議会役員と企画課との意見交換会
6月26日　香美町連合自治会総会にて「新しい地域コミュニティづくり」の説明
7月27日　村岡区自治会岡山県美作市梶並地区活性化推進委員会視察
11月13日　射添地区区長協議会と役場企画課打ち合わせ
12月4日　射添地区区長協議会役員会（設立準備委員会立ち上げの検討）

H31年
1月9日　射添地区区長協議会役員会
1月17日　射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会発足（組織構成・規約・活動・予算）射添地区公民館内に準備室
1月29日　設立準備委員会役員会
2月1日　第1回設立準備委員会
2月10日　新しい地域コミュニティづくり研修会
講師　鳥取大学　筒井一伸氏
2月14日　設立準備委員会役員会
2月19日　設立準備委員会と女性層各団体説明会
3月5日　第2回設立準備委員会
3月26日　設立準備委員会役員会
4月3日　第3回設立準備委員会

射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会発足!!

平成31年1月17日（木）射添地区公民館

射添を考える会（会長古川功兒　役員13名）を母体として、『射添地区新しい地域コミュニティ設立準備委員会』を発足させ、射添地域を一つと考え、射添地区内の様々な課題や問題を検討します。射添地区の新しい地域コミュニティ組織の設立に向けての組織体制や取り組む事業内容を策定するため幅広い組織団体に委員をお願いし、射添地域にあった新たな仕組み作りを目指すため今後検討してまいります。

射添を考える会

活動内容：
平成4年4月、射添地域に活力を与え、発展を期すことを目的に発足。地域の活性化に関する事業活動を展開しています。

構成メンバー：
射添地区の区長・射添地域出身の町議会議員、老人会代表、青壮年代表、商工会代表、射添地区公民館長を以て組織しています。

新しい地域コミュニティづくり研修会を開催

当設立準備委員会主催

とき　平成31年2月10日（日）
ところ　村岡老人福祉センター
題目　田園回帰とコミュニティ
　　ー担い手を生かす地域づくりー
講師　鳥取大学地域学部教授　筒井一伸氏

射添地区の住民や町内区長ら約130人が参加しました。今後、新しい地域コミュニティ組織が進めていくべき方向性について研修しました。

講演では、今後、地域の担い手が不足することが危惧される。新たな組織は各集落と役割を分担し、コミュニティとして必要なことを上乗せする形で進める。また地区周辺に住む出身者（外家族）に参画していただくなどが提案されました。